

倉吉市の水道事業ガイドライン(業務指標)

水道事業ガイドラインは、水道事業を多方面から、業務指標によって数値化しようとするものです。平成16年6月に厚生労働省から出された水道事業ビジョンの目標にあわせて、(公社)日本水道協会が平成17年1月に制定した国内規格です。さらに、平成28年3月にガイドラインが「水道事業ガイドライン(JWWAQ100):2016」に改定されたことを受けて、平成28年度から新たな業務指標で作成しました。

倉吉市の水道事業(簡易水道除く)について、この業務指標より現状を把握します。

《安全で良質な水》

水道水の安全性をより一層高め、良質な水道水を供給する業務指標として、全17項目あります。水源から給水栓までの水質監視・管理及び給水栓における水質向上に向けて、適切な上水処理、管路の維持管理などに努めます。

原水水質監視項目数は43項目としており、水道水質としては良好となっています。

NO	業務指標	算式	単位	H30	R元	R2	望ましい方向
A201	原水水質監視度	原水水質監視項目数	項目	43	43	43	↑

《安定した水の供給》

いつでもどこでも安定的に水道水を供給する業務指標として、全57項目あります。

一日平均給水量の給水能力に対する割合を示す指標である「施設利用率」は、53.1%と引き続き低い水準のため、給水能力のダウンサイジングを検討する必要があります。

「漏水率」は、18.5%と昨年度と変化はありませんが、鳥取県中部地震の影響が継続していると思われます。「有収率」も81.3%と変化はありません。

「配水池貯留能力」は、給水に対する安全性、災害・事故等に対する危機対応性を示す指標で、需要と供給の調整および突発事故に対応するため0.5日以上必要とされていますが、0.8日分確保できています。

「給水制限日数」は、渇水時や水道施設の事故等のために1年間で何日給水制限したかを示す指標ですが、過去3年間で給水制限をした日はなく、安定して給水しています。

「法定耐用年数超過設備率」は61.6%、「法定耐用年数超過管路率」は33.7%と昨年度と比較して減少していますが、全体的に経年化が進んでおり、将来を見越した施設の更新をおこなう必要があります。

NO	業務指標	算式	単位	H30	R元	R2	望ましい方向
B104	施設利用率	$(\text{一日平均配水量}/\text{施設能力}) \times 100$	%	51.9	51.9	53.1	↗
B110	漏水率	$(\text{年間漏水量}/\text{年間配水量}) \times 100$	%	16.4	18.5	18.5	↘
B112	有収率	$(\text{年間有収水量}/\text{年間配水量}) \times 100$	%	83.3	81.3	81.3	↗
B113	配水池貯留能力	配水池有効容量/一日平均配水量	日	0.82	0.82	0.80	↗
B115	給水制限日数	年間給水制限日数	日	0	0	0	↘
B209	給水人口一人当たり平均断水・濁水時間	$\Sigma(\text{断水・濁水時間} \times \text{断水・濁水区域給水人口}) / \text{現在給水人口}$	時間	0.04	0.00	0.00	↘
B210	災害対策訓練実施回数	年間の災害対策訓練実施回数	回/年	1	2	0	—
B502	法定耐用年数超過設備率	$(\text{法定耐用年数を超えている機械・電気・計装設備などの合計数} / \text{機械・電気・計装設備などの合計数}) \times 100$	%	64.8	66.2	61.6	↘
B503	法定耐用年数超過管路率	$(\text{法定耐用年数を超えている管路延長} / \text{管路延長}) \times 100$	%	39.8	38.6	33.7	↘

《健全な事業経営》

健全かつ安定的な事業経営を継続する業務指標として、全 45 項目あります。

経営に関する指標である「営業収支比率」および事業の収益性を示す指標である「経常収支比率」は、112.8%、115.7%でいずれも利益が生じる 100%を超えているため経営成績は概ね良好といえます。

職員一人当たりの生産性や事業効率を示す指標である「職員一人当たり給水収益」、「職員一人当たり有収水量」は、28,209 千円/人、212,000 m³/人と上向いていますが、類似団体と比較すると低い水準にあるため、各種業務についてアウトソーシングを検討する必要があります。

NO	業務指標	算式	単位	H30	R元	R2	望ましい方向
C101	営業収支比率	$\{(営業収益-受託工事収益)/(営業費用-受託工事費)\} \times 100$	%	106.8	105.4	112.8	㊦
C102	経常収支比率	$\{(営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)\} \times 100$	%	107.1	106.9	115.7	㊦
C107	職員一人当たり 給水収益	$(給水収益/損益勘定所属職員数)/1000$	千円/人	23,372	21,320	28,209	㊦
C124	職員一人当たり 有収水量	年間総有収水量/損益勘定所属 職員数	m ³ /人	175,000	160,000	212,000	㊦

【表の見方】

◆ 望ましい方向

前年度より望ましい方向へ 青;向かっている。

赤;悪くなった。

白;前年と同値または値なし